



10月の園だより

て・く・む

(神はいつも私のそばに)

†聖書のことば†

父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

使徒パウロのローマの教会への手紙

朝夕、秋の気配を感じるこの頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか。幼稚園では、運動会に向けての練習が始まり、子どもたちの元気な声が響き渡っています。

2学期は、運動会を始め、マリア祭、こども祭り、クリスマス会など、沢山の行事があります。

保護者の皆様と共に、子ども達の心に残る行事にしていきたいですね。

カトリックにおいて10月2日は「守護の天使」の記念日です。カトリック教会では、昔から聖書に基づいて、神は天使を造られ、一人ひとりを守っていると信じてきました。「あなたには災難もふりかかることがなく天幕には疫病も触れることがない。主はあなたのために、御使いに命じてあなたの道のどこにおいても守らせてくださいます。彼らはあなたをその手にのせて運び、足が石に当たらないように守ります。」（詩編91.10-12）など、聖書に守護の天使のことが記されています（Laudate 聖なる守護の天使より）。

また、10月はロザリオの月と言われ、ロザリオとは、ラテン語で「バラの冠」という意味で、ロザリオは、カトリック教会において聖母マリアへの祈りを繰り返し唱える際に用いる数珠状の祈りの用具で、「アヴェ・マリア」を繰り返し唱えながら福音書に記されているイエス・キリストの主な出来事を黙想していきます。当園でも10月31日のマリア祭で子ども達と共に祈りを捧げます。

園 長